



ほ  
り  
こ  
し  
イ

記事内容は執筆者個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

# スクールソーシャルワーカーだより 30

こと ほりかわしげとし

horikawassw@gmail.com

ことばの由来 …  
この動物の先住民の呼び名

## ☆ カンガルー の巻 ☆

18世紀初め、西洋人として初めてオーストラリアに到達したクック船長がカンガルーを見て、「何という動物か」と尋ね、アボリジニ(先住民)が、『カンガルー』と答えたと言います。それを、「カンガルーとは、現地の言葉で『分からない』と言う意味だったと、笑い話にされています。

カンガルーはアボリジニの獲物ですから当然、名前が有ります。この笑い話は、自分たちが優れていると思込んでいる人が、現地の人を馬鹿にして作った話ですが、現代社会にもそんな種類の人がいるようです。



当SSWの小学五、六年生での同級生で、大ケガで入学が遅れ、一歳年上の平山邦重くんと言う子がいました。

頭がよく、きれいな文字を書き、陽気な友だちでしたが、右腕が「く」の字に曲がって真っ直ぐ伸ばせませんし、話はほとんど通じなかったけれど、よく遊んだ友だちでした。

邦重くんは、みんなとは別の中学校に入学しました。でも、お盆に一度、墓参りに行く船から降りる時、彼がこちらに気付いて二人で手を振り合った事がありました。



同じクラスに、ジャイアンとスネ夫みたいな子と、その取り巻きがいました。

邦重くんは力も強く、直接の意地悪はなかったけれど遠くから、彼の言葉をからかったあだ名「チャパ」と呼んで笑っていました。

そんな彼らに、当SSWは腹を立てているのに、相手にしない邦重くんを見て不思議に思い、また、尊敬の目で見ていました。

邦重くんは本当に強い子だったのですね。



こころが弱い人は、自分より弱い立場の人を作り出して意地悪をしようとします。

意地悪された側は、それまでの平和を壊されてしまいます。

邦重くんのように強くない子は、友だちが団結して支え合わないと、ジャイアンから大事な物を奪われるのび太のように、悲しい目にあってしまいます。

群れから離れた動物のように、ひとりぼっちだと狙われます。仲良くしなくても良いから、寄り添っているだけでも良いのです。

一番良いのは、困った事になりそうだと感じたら、勇気を持ってSOSを出す事です。子ども達にお伝えください。

